

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：県民生活行政費

事業名 県子ども会育成事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 生涯学習係 電話番号：058-272-1111 (内 3574)

E-mail: c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 777千円 (前年度予算額: 777千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	777	0	0	0	0	0	0	0	777
要求額	777	0	0	0	0	0	0	0	777
決定額	777	0	0	0	0	0	0	0	777

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

子ども同士及び地域の人との関わり方・望ましい人間関係を築く力が低下している昨今、地域に根ざした主体的な活動に取り組むことや、地域における活動の促進及び地域の教育力の向上が青少年の健全育成のための課題となっている。

(2) 事業内容

県子ども会育成連合会が実施する青少年の健全育成を図るための事業の実施に要する経費の一部を補助し、各子ども会の活性化を図るとともに、各地域において主体的な活動を実施できるように支援する。

- ・指導者養成 (岐阜県子ども会育成大会、ジュニアリーダー・シニアリーダー育成指導者研修会等) ・指導資料の発行
- ・研修会への派遣 (東海北陸地区ジュニアリーダー研修会等)
- ・子ども会活動の調査研究 ・地区別合同研修会の開催
- ・機関紙の発行 (機関誌「子ども会」、季刊紙「ぎふ子ども会」)

(3) 県負担・補助率の考え方

定額：補助対象経費の2分の1以内の額

(生涯教育促進事業費等補助金交付要綱による)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	777	県子ども会育成事業費補助金
合計	777	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図るための補助事業であり、次年度以降も継続する必要がある。

(2) 事業主体及びその妥当性

岐阜県子ども会育成連合会が開催している岐阜県子ども会育成大会、ジュニアリーダー・シニアリーダー研修会等には、毎年県内から多数の指導者やリーダーが参加しており、これら参加者が、地域の子どもたちの活動を支え、青少年の健全育成に貢献していることから妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	県子ども会育成事業費補助金
補助事業者（団体）	（一財）岐阜県子ども会育成連合会 （理由）地域に根差した主体的な活動に取り組む子ども会の活性化により地域における活動の促進及び地域の教育力の向上を図り青少年の健全育成に資する。
補助事業の概要	（目的）岐阜県子ども会育成連合会が行う人材育成のための事業に対して、事業費の一部を補助する。 （内容）県子ども会育成連合会が実施する事業に要する経費の一部を補助する。
補助率・補助単価等	定額 ・定率・その他（例：人件費相当額） （777千円：補助対象経費の2分の1以内の額）
補助効果	毎年開催する岐阜県子ども会育成大会には、県内から200～300人の指導者が参加。これらの指導者が、地域の子どもたちの活動を支え、青少年の健全育成に貢献している。
終期の設定	終期5年度 （理由）社会教育関係団体への補助金交付については、県社会教育委員の会の意見を聴いて行っている。

（事業目標）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか 教育ビジョン 5 ㊸ 家庭や地域と学校が連携した教育環境づくりの推進 ・ 社会全体で子どもたちの学びを支援する取組の推進
--

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H**年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① 岐阜県子ども会育成大会の参加者数	/	300	300

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	777千円	777千円	777千円	(予算額) 777千円	(要求額) 777千円
指標①目標	300	300	300	300	300
指標①実績	273	266	250	新型コロナウイルス感染症対策として中止	(推計値) 300
指標①達成率	91%	89%	83%		(推計値) 100%

(前年度の成果)

(一財) 岐阜県子ども会育成連合会が行う指導者研修会、ジュニアリーダー・シニアリーダー研修会等の事業に対し支援を行うことにより、青少年の健全育成に寄与できた。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

少子化により、構成メンバーは減少しているため、指導者やリーダーの資質向上が喫緊の課題である。

(事業の評価)

・事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か)

○ : 必要性が高い △ : 必要性が低い

(評価)

○

(一財) 岐阜県子ども会育成連合会は、青少年の健全育成に尽力している団体であり、これらの団体が行っている人材育成に関する事業に対し、引き続き支援し、連携していく必要がある。

・事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

○ : 概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている

△ : まだ期待どおりの成果が得られていない

(評価)

○

(一財) 岐阜県子ども会育成連合会は、青少年の健全育成に向けた活動を日頃から実践し、指導者や構成員の育成に積極的に取り組んでいる。補助金はこれらの事業費の一部に充てられている。

・事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)

○ : 効率化は図られている △ : 向上の余地がある

(評価)

○

県として理事会に参加し、業務の確認を行っている。

(事業の見直し検討)

青少年の健全育成には、地域ぐるみで取り組まなければならない。地域に根差した取組を行っている (一財) 岐阜県子ども会育成連合会との連携・協力は必要である。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止

(理由)

子どもたちのよりよい育ちのためには、(一財) 岐阜県子ども会育成連合会と連携し、団体の指導者の資質を高めてもらうよう積極的に団体活動を支援していく必要がある。